

WEB版動画講習会

ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【許容応力度計算】

特別編

■本動画の受講にあたっての留意事項

- ・下記の講義時間には演習時間は含まれていません。標準的に設定した演習時間を含めると128分（約2時間）の内容となります。演習を行うときは動画の視聴を一旦停止し、演習に取り組んでください。
- ・動画の途中で一旦視聴を止めた場合、次回再生は視聴を止めた位置からとなります。
- ・初回再生時には早送りや巻き戻しはできません。動画をひととおり初めから終わりまで再生した後は、早送り・巻き戻しが可能になります。

特別編 講義時間：約88分			(参考)
No	講習内容	講義時間	演習設定時間 (標準的な時間です。講義 時間に含まれていません。)
動画1	耐震壁の断面算定<テキスト：第8章> 8.1 曲げと軸力 8.2 せん断力と開口補強（縦横筋と開口補強の決め方） 8.3 基礎における転倒モーメントの検討 8.4 耐震壁の断面算定例	37分	
動画2	小梁と床スラブの設計<テキスト：第9章> 9.1 設計の方針 9.2 小梁の設計 9.3 床スラブの設計 演習：ひとりでやってみよう/26	23分	20分
動画3	基礎の設計<テキスト：第10章> 10.1 基礎の種類 10.2 独立基礎 演習：ひとりでやってみよう/27~28	16分	20分
動画4	配筋の詳細<テキスト：第11章> 11.1 かぶり暑さ 11.2 異形棒鋼のあき 11.3 あばら筋・帯筋 11.4 直接基礎の配筋 11.5 付着・定着について	12分	
		88分	40分